

L P ガス C P 情報(2013年2月積み)

1. 2月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 910^{ドル} (前月比 -45^{ドル})ブタン 910^{ドル} (前月比 -45^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、サウジの2月前半の出荷停止の報で一時950^{ドル}台まで上昇したが、需給にひっ迫感はなく軟化した。CP先物市況は、バックワーデーション(期先安)が続き、供給が潤沢にあることから第2週には900^{ドル}台を割り込んだが、寒波により需要が増加、原油市況の反騰もあって月後半は反発した。ナフサは中旬まで940~950^{ドル}台で推移したが、下旬は原油高を受けて970~980^{ドル}台に上昇、CP先物では期先がブタン高、プロパン安。フレート市況はFOBスポット玉の余力がないことから船影が濃く38^{ドル}台で推移した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン、ブタンともに7ポイント下落。前年同月比ではプロパン8、ブタン11ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	38	39	38	38	38
CP先物指標:P	920	865	905	905	899
CP先物指標:B	920	860	905	905	898

② 原油市況等

原油市況をみると、年明け後のWTIは93^{ドル}、ドバイ107^{ドル}台でスタート、米国、欧州の債務危機の後退、世界景気の回復期待、地政学的リスクの上昇を背景に中旬以降、騰勢を強めている。一方、米国の原油生産量は増加が続き、年明け後は1994年以来の日量700万バレル越えとなっている。原油輸入量は減少しているが、在庫は高水準が続き、クッシングの在庫は年明け以降5,000万バレル超の過去最高を更新している。なお、WTIの建玉(総取組高)は中旬に150万枚を回復、大口投機玉ネット買い越しは年末の19.8万枚から1月下旬には25万枚まで急増している。

ドバイは106~109^{ドル}台、北海ブレントは110~114^{ドル}台のレンジで推移した。

○1月積みアラビアンライト(1月1~31日まで)は111.24^{ドル}(前月比+1.95^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン912.04^{ドル}/トン ブタン899.53^{ドル}/トン

AL比 プロパン99.78% ブタン101.16%

2. 2013年3月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日	91.00	82,810	82,810	-600	-600
21~20日	91.28	83,100	83,100	-1,400	-1,400
26~25日	92.05	83,800	83,800	-1,500	-1,500
1~31日	90.24	84,800	84,800	900	4,300

*TTS平均は2月1日まで、1~31日分はコスモ2月仕切に適用
コスモは前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。

*アストモスエネルギーは1月仕切から前月・当月CP50%案分型に変更、
詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。